

平成30年度（第11回）「ふくおか地域づくり活動賞」受賞団体

1. 「ふくおか地域づくり活動賞」グランプリ（知事賞）1団体

団体名（所在市町村）	受賞理由
楠北自治区会 （北九州市）	<p>「一戸一美運動」として住宅の玄関や庭などの通りから見える場所に、花、俳句、竹細工など趣味や特技を生かした作品を設置し、通りの文化祭を開催しています。また、買い物難民対策として「ふれあい朝市」や「買い物バス」の運行を実施。また、課題把握につながる「自治区会の健康診断」に取り組んでいます。</p> <p>少子高齢化や商店の撤退、自治会の活性化という課題解決に向けた取組は、他の一般的な活動をされている自治会等の模範となるような点が評価されました。</p>

2. 「ふくおか地域づくり活動賞」準グランプリ（協議会会長賞）2団体（50音順）

団体名（所在市町村）	受賞理由
自然体験クラブ Hoshino Nature's Way （八女市）	<p>旧星野村の三セクが行っていた星野自然学校の事業を引き継ぎ、星野村での自然体験・モノづくり体験・地域行事参加体験などプログラムを実施しています。年間10以上のプログラムを実施し、累計150～200人の子どもがプログラムに参加しています。プログラムの中には、地域行事に参加するプログラムもあり、少子化が進み地域行事の運営が困難な地域からも支持されています。新たな試みとして子どもだけでなくおとなも楽しめる野外活動プログラムや地元農家と連携した農業体験プログラムなど展開しています。</p> <p>自治体が行っていた事業を引き継いで行っている点が評価されました。</p>
和白干潟を守る会 （福岡市）	<p>福岡湾・和白干潟の自然保護活動として、自然観察会（環境教育）（年14回開催、延べ844人参加）、クリーン作戦（月1回、延べ705人参加）、鳥類調査（年9回）等を実施。地域の立花山、唐原川の保全グループと連携し「山・川・海の流域会議」を結成。年1回開催する「和白干潟まつり」（参加人数：約400人）は家族連れも多く参加しています。クリーン作戦には協力いただいている企業の社員の方が家族と参加したり、大学のゼミ単位で参加があったりと若い世代の参加も増加しています。</p> <p>活動が長期に継続して行われている点や、団体の働きかけにより行政の計画を変更することができた点が評価されました。</p>

3. 「ふくおか地域づくり活動賞」10団体（50音順）

団体名（所在市町村）
糸島市愛犬の会（糸島市）
猪倉実習（北九州市）
枝光一区地域まちづくり協議会（北九州市）
春日市青少年育成市民会議（春日市）
加布里校区運営協議会（糸島市）
唐津街道姪浜まちづくり協議会（福岡市）
新宮町食生活改善推進会（新宮町）
どんぼの森を育てる会（大野城市）
みんなで天籟寺川を美しくする会（北九州市）
守恒校区まちづくり協議会（北九州市）